

農福連携共同作業所『おくこね』が開所されました。

12月15日、(株)サンエイトがひきこもりの方の就労を支援する農福連携共同作業所「おくこね」の開所式をカルチャープラザ仁多で行い、勝田町長をはじめ、関係者9名が出席しました。

農福連携とは、農業と福祉分野が連携し、農業分野での活動を通じ、障がい者等の就労や社会参画の機会を確保することです。

(株)サンエイトは、奥出雲町社会福祉協議会と平成31年に事業の連携契約を締結し、ひきこもりの方の社会復帰を支援する活動を行っています。この度、利用者の増加に伴い、十分に作業ができる広さの作業所を確保するために町内にある空き施設を改修し、「おくこね」を開所しました。この施設では、(株)サンエイトの農業部門として、えごま油の精製や唐辛子の粉碎などの作業が行われます。

当施設の愛称「おくこね」は、「奥出雲をコネクトする」を略したもので、当施設が人と人を繋ぎ、地域を未来へと繋ぎ、利用した人々を幸せへと繋げる施設にしたいという思いが込められています。



開所式の様子

三井野原スキー場オープン



三井野原スキー場の様子

12月19日、三井野原スキー場がオープンしました。昨年は暖冬による雪不足であったため、2年振りのオープンとなりました。三井野原スキー場は、なだらかな斜面で見通しが良く、初心者やファミリー向けのゲレンデです。

例年、三井野原観光協会主催でスキー場開きが行われ、シーズン中の安全と盛況を祈願していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスキー場開きは行われませんでした。

また、感染対策として、スキー場では、券売所での検温、マスクの着用やリフト待ちで並ぶ際のソーシャルディスタンスの確保をお願いしています。

スキー場は2月末まで営業をする予定です。

積雪情報をチェックするには

三井野原スキー場

検索

<http://www.okuizumo.ne.jp/~miinohara/>

みんなで人権について考えよう 「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年度は、標語に873点、イラストに19点の応募があり、12月5日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。各部門の最優秀作品は次のとおりです。

【標語の部】

狩野 聖愛さん 三成小3年
(かのうしょうま)

『それぞれみんな
ちがうけど
それがみんなの
いいところ』

【イラストの部】

石原 妃奈乃さん 鳥上小6年
(いしはら ひなの)



男女共同参画山柳
老いてなお
夫婦相和し
イノベーション

多様化の時代、自分の考えを一方的に伝えるのではなく、夫婦で話し合いお互いを尊重し合う考え方を取り入れていきたい。

奥出雲町男女共同参画サポーター

木次乳業有限会社・株式会社山陰合同銀行 図書カードを寄贈

木次乳業有限会社と株式会社山陰合同銀行から奥出雲町と雲南市の小中学校に対し、図書カードが寄贈されました。寄贈式は、12月4日に雲南市役所で行われ、関係者5名が参加しました。

木次乳業有限会社では、コロナ禍で牛乳の需要が厳しい中、学校給食での牛乳販売が経営への一助となりました。その感謝の思いから、株式会社山陰合同銀行の商品である「教育機関寄贈型」私募債を利用し、奥出雲町の子どもの健やかな育ちを応援するために寄贈されました。



左から、木次乳業佐藤専務、奥出雲町松田教育長、木次乳業佐藤社長、雲南市景山教育長、山陰合同銀行雲南支店小川支店長

令和2年度 鳥根県献血推進協議会 功労者表彰を受賞されました。

献血推進について著しい功績があった方を表彰する鳥根県献血推進協議会功労者表彰を松崎智昭さん(八川)が受賞されました。松崎さんが高校生のときから始めた献血の回数は、100回を超えています。松崎さんは、「機会があるごとに献血させていただきました。わずかな時間で何かしらの社会貢献ができているとすれば幸いです。今回このように表彰していただき、今後も積極的に献血活動に協力していきたいと考えています。」と話されました。

町では移動採血車による献血を年2回(5月、10月)実施しています。多くの方のご協力をお願いいたします。



令和2年度おくいずも子育て応援事業所を認定

町では仕事と子育ての両立を応援する事業所を「おくいずも子育て応援事業所」として認定する制度を平成27年度から実施しています。今年度は、アクアシステム株式会社奥出雲営業所と株式会社丸共の2社を認定し、勝田町長から認定証等が手渡されました。各事業所で実施されている“子育てしやすい職場づくり”の取組を紹介します。



アクアシステム株式会社 奥出雲営業所

子育て世代に限らず、孫育て世代の従業員の方も休暇を取りやすい体制づくりに配慮されています。また、定期的に全営業所の状況を共有し、従業員の配置に協力し合って、仕事と子育ての両立に向けた取り組みを実施されています。



株式会社 丸共

休暇を取得しやすい環境づくり、急な休みにも対応できる体制づくりへの配慮や従業員向けに住宅を確保するなど、仕事と子育ての両立に向けた取り組みを実施されています。また、従業員間の交流により、要望を出しやすい環境づくりを積極的に取り入れられています。



【お問い合わせ】

奥出雲町教育委員会 結婚・子育て応援課 有線:20-4273 電話:52-2206